

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	水俣病に関する総合的研究		担当部局庁	環境保健部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年～		担当課室	特殊疾病対策室		小林 秀幸	
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 環境保健対策の推進 7-2 水俣病対策 9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法第37条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法第37条において、政府は水俣病やメチル水銀の健康影響に関する調査研究を行うこととされたほか、特別措置法による水俣病の救済等を通じて水俣病の問題にかかる社会的関心が再び高まっており、研究にかかるニーズも一層高まっている。本事業は、このような背景を踏まえ、認定審査の促進、紛争の解決等のために必要な研究を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、メチル水銀が人の健康に与える影響に関する調査の手法を開発するに当たり必要となる各種課題(水俣病患者の経年的変化及び自然史、メチル水銀への曝露量と症候の関係、水俣病に係る有効な診断方法等)に関する研究、及びその推進に当たり有用な基礎的知見を得ることを目的とした研究、その他水俣病問題に対応するために必要な研究について、研究班を組織して実施している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	56	59	39	35	35
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	56	59	39	35	35	
	執行額	6	25	35			
執行率(%)	11%	42%	90%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	認定審査の促進、紛争の解決等のために必要な研究等においては、課題等が多岐にわたっており定量的な指標の設定は困難である。			成果実績	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	認定審査の促進、紛争の解決等のために必要な研究等においては、課題等が多岐にわたっており定量的な指標の設定は困難である。			活動実績 (当初見込み)	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	公害調査等委託費	35	35				
	計	35	35				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	－	水俣病は公健法第2条の規定に基づく指定疾病であり、水俣病被害者救済特措法第37条では、政府は、指定地域及びその周辺の地域に居住していた者の健康に係る調査研究等を積極的かつ速やかに行うこととされている。本業務は、このような状況を踏まえ、水俣病に関する研究を行うことを目的としている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先は、競争入札において選定されており妥当である。また、各個別の研究課題も公募により選定するなど、質の高い研究が行われるよう工夫がなされている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	－	研究は、法の求めに応じて実施するものであり、他の手段による実施は困難である。また、多くの貴重な研究結果が報告されており、所用の成果が得られている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	－			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	本事業で実施した各研究は、外部委員により評価を受けており、その結果を踏まえて研究継続の可否、研究内容の変更等を行っている。メチル水銀による健康影響といった国が取り組むべき課題について、効率よく研究が行われている。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	健康影響等の解明に向けて引き続き効果的かつ効率的な研究を行うこと				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	外部委員による評価等を通して適宜研究内容の見直しを行いつつ、効果的かつ効率的に研究を進める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	289	平成23年	227	平成24年	236

環境省
35百万円

〔 水俣病に関して、科学的知見を集積し、また、水俣病の発生機序やメチル水銀の毒性・汚染への対策方法の開発につながる研究を実施する 〕

【一般競争入札:委託】

A. 日本エヌ・ユー・エス株式会社
32.5百万円

〔 研究班の設置・支払、評価委員会及び推進委員会の設置・開催等 〕

【一般競争入札:委託】

C. 株式会社ノルド
2.5百万円

〔 検討委員会及び法学的研究の開催等 〕

↓
【再委託】

B. 大学等(6機関)
20百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本エヌ・ユー・エス株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	委託研究費	19.1			
人件費	人件費	7.0			
旅費	委員、事務局旅費	1.1			
賃金	研究補助者 4人	1.0			
諸謝金	推進委員会等謝金	0.5			
印刷製本費	資料	0.2			
借料及び損料	会議室	0.1			
その他	その他	0.3			
一般管理費		3.2			
計		32.5	計		0
B.熊本大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	研究関係の消耗品	4.5			
人件費	人件費	1.6			
旅費	委員旅費	0.4			
その他	その他	0.2			
計		6.7	計		0
C.株式会社ノルド					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	1.1			
諸謝金	推進委員会等謝金	0.8			
旅費	委員、事務局旅費	0.3			
その他	会議費等	0.3			
計		2.5	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス株式会社	水俣病について「社会的課題に関する研究」及び「水俣病に関する基盤的研究」の両分野における基礎的研究及び応用的研究	32.5	2	66%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	熊本大学	水俣病患者の経年的変化及び自然死の把握	6.7	—	—
2	東北大学	メチル水銀の細胞毒性発現機構に関する研究	5.5	—	—
3	国立長寿医療研究センター	高齢者の二点識別覚に関する研究	3.3	—	—
4	山梨大学	水俣病の病態生理と治療に関する研究	3.0	—	—
5	新潟大学	メチル水銀暴露による神経症状の治癒に関する研究	0.8	—	—
6	秋田大学	メチル水銀ばく露による健康問題の国際的課題に関する研究	0.8	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ノルド	法的観点による水俣病問題の検証業務	2.5	3	83%